

科目名	地域文化論		英文表記		Regional Culturology		平成25年5月31日		
科目コード	4019								
教員名: 下郡剛 技術職員名:							修正		
対象学科／専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
全学科			4年	必	履修	1単位	講義	前期	
科目目標	沖縄地域社会の理解を目的とし、沖縄の文化・歴史・地理風土などについての認識を深める。								
総合評価	PBL研究発表で評価する(但し評価の対称は、取り組み・討論の内容等を含む)。								
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)				達成度目標の評価方法			目標割合	
	① 自ら決めたテーマについて、根拠を提示しながらプレゼンを行う。(機B-4, 情B-3, メディアB-2, 生物B-3)				⇒ PBLによる評価			100%	
	②								
	③								
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	○	○	○	◎	JABEEプログラム教育目標	B-4	A-1	B-2	B-3
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合									
		目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック	
評価項目			0	0	0	100	100		
基礎的理解						50	50		
応用力(実践・専門・融合)							0		
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						50	50		
主体的・継続的学修意欲							0		
授業概要、方針、履修上の注意	資・史料を提示し、歴史学的方法論を併せて説明することで、科学的・論理的に考える能力を高める。班単位で学生自ら課題を設定し、調査・発表・全体討論を行う。								
教科書・教材	教員が編集したプリント、プレゼン資料								

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	1年間のガイダンス・PBL班	2	授業の方針・進め方等についての説明。PBL班編制		
2	第1回PBL班会議	2	第1回目のPBL班会議を行い、沖縄の産業・文化・		
3	沖縄戦―教科書問題とメデイ	2	現在における沖縄戦認識の一つとして、教科書問題		
4	沖縄戦―軍事史としての視	2	太平洋戦争全体の中における沖縄戦の意義、及び、		
5	沖縄戦―軍事史としての視	2	沖縄側の視点から日本軍の沖縄防衛計画とその変		
6	第2回PBL班会議	2	翌週のPBL中間報告の準備。		
7	PBL中間報告	2	班単位で設定した課題について、これまで調査した		
8	第3回PBL班会議	2	前回の中間報告を踏まえ、今後の課題と対応方法を		
9	沖縄戦―住民被害の実態1	2	住民被害は何故生じたのか、その背景について、東		
10	沖縄戦―住民被害の実態2	2	住民被害は何故生じたのか、その背景について、沖		
11	第4回PBL班会議	2	次回からの発表にそなえ、最後の会議を持つ(PBL		
12	1・2班PBL研究発表	2	1・2班で調査した課題の最終発表と討論。(PBL1)		
13	3・4班PBL研究発表	2	3・4班で調査した課題の最終発表と討論。(PBL1)		
14	5・6班PBL研究発表	2	5・6班で調査した課題の最終発表と討論。(PBL1)		
15	戦跡の現在	2	戦争体験者の報告と、当地の現在の様子をスライド		
期末	期末試験	[2]			
16		2			
17		2			
18		2			
19		2			
20		2			
21		2			
22		2			
23	後期中間試験(行事予定で過変更可)	2			
24		2			
25		2			
26		2			
27		2			
28		2			
29		2			
30		2			
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		60	実時間	45	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①				各2時間×30回	
②				各5時間×2回	
③					
備考欄					
(共通記述) ・ この科目はJABEE対応科目である。 その他必要事項は各コースで決める。 (各科目個別記述) ・ この科目の主たる関連科目は電子回路Ⅰ・Ⅱ(3年)、集積回路Ⅰ(4年)、集積回路Ⅱ(5年) その他必要事項は各コースで決める。					